

ふくろいスマイル座談会 ⑩袋井北地区

【開催概要】 総合計画及び都市計画マスタープラン策定のために、地域の未来について、大場市長と住民との意見交換を行う「ふくろいスマイル座談会 袋井北地区」を以下の通り開催しました。

日時	令和6年10月22日(火)19時～20時40分
場所	袋井北コミュニティセンター【参加人数:50人】
内容	1 開会 2 まちづくり協議会/会長あいさつ 3 市長あいさつ 4 報告事項 (1)袋井市総合計画策定の進め方について (2)袋井市都市計画マスタープランの見直しについて (3)地区まちづくり協議会における「活動方針」の策定について (4)質疑応答 5 意見交換「袋井の未来のコト」や「地域の将来のコト」など 6 閉会



- ### 「ご意見・ご提案」用紙から
- 第3次総合計画期間内の事前復興計画の策定。自治会(地域)活動持続のため、地域に寄り添った市政運営。災害時の外国人住民の安否確認の適切な方法の協議と提示。
 - 広報配布の負担軽減と市ホームページ等の活用。ラジオ難受信地域(国1バイパス北側)の解消。自治会備蓄品(食料・水)必要量の設定。
 - 地域活動への中・高校生のチカラの活用。
 - 借家における家具固定の検討。
 - 地域にある「さわやかアリーナ」や「久野城址」を結ぶウォーキングコースの整備。

●当日の意見交換の主な内容 (※現総合計画の「政策」分野ごとに整理しました)

周南中学生からの意見 総合学習での袋井について の研究成果と市への提言

●久野城址の魅力発信

- ①観光バスが入れる道の確保が必要、②袋井市は、日本一健康文化都市を掲げており健康と文化をつなげる取組が必要、③観光案内板が少なく感じる、④袋井の魅力の情報発信方法について模索が必要、⑤若い人たちが地域活動に参加することが重要

⇒郷土愛を育むことは大切なこと。こうした意見を核に地域と協働しながら活性化が進められれば良い。久野城址保存会には世代を超えた交流等をお願いしたい。

市民がいきいきと活躍するまち

- 公共施設等、様々な施設で市旗を掲揚してほしい。

⇒市章について愛着をお持ちくださることに感謝する。現実的には市旗の制作や掲揚にはコストや人工もかかる。出来るだけ多くの機会に掲揚していただく。

子どもがすこやかに育つまち

- おいしい給食について聞きたい。

⇒袋井市は、健康都市連合に加盟しており、この度、韓国で開催された会議に出席し、袋井市の学校給食の特徴である、地産地消、食育、栄養バランス、温かさ、陶器製の食器の使用等、世界一の学校給食を紹介、市の魅力発信をしてきた。

快適で魅力あるまち

- 袋井市の人口減少が抑制されているのは魅力があるためか。どういう努力、施策をしているのか知りたい。

⇒先人たちの努力の賜物。子育て環境、高齢福祉等のソフト対策、区画整理事業による住宅地の確保等ハード対策も計画的に実施してきた。こうした取組を継続実施してきたことが、今の成果となっている。

子どもがすこやかに育つまち

- 中学校の部活動の地域移行により、サッカー競技等は、活動場所、指導者の報酬等の費用問題や、指導のレベル感等も様々で懸念している。

⇒部活動の地域移行は、課題はあるが、地域の皆さんと受け皿を検討したい。活動場所の不足は認識しており、スポーツも文化活動も多くの方が楽しめる部活動の環境を整備したい。新しい部活動の姿を作っていきたい。

安全・安心に暮らせるまち

- 袋井の弱点は軟弱地盤、多数の家屋の倒壊も想定されている。被災からの早期復興につなげるため、事前復興計画の取組を進めて欲しい。

⇒能登半島地震を教訓に公助が届かない時に、自助や共助が大切。家具の転倒防止など、各家庭での防災対策も進めてほしい。市民と力を合わせ防災力を高めていく。